



望

と

勇

令和8年5月8日

No.6

文責 田中 誠

児童総会



連休前の5月1日金曜日に児童総会が行われました。4年生から6年生までが体育館に集まり、令和8年度の委員会の活動計画について話し合います。

各委員長たちは、この日に向けて多くの時間をかけて準備を進めてきました。議案書の作成、演説内容の作成、担当職員との打ち合わせ…。目に見える準備はもちろんですが、心の中に生じる緊張感とも向き合いながら、この日を迎えたことと推察します。

そもそも、児童総会とは何のために行うのかを理解することが大変難しいものです。委員会の活動を発表するということはわかっているも「なぜそれが必要か」「どういう意味をもつか」まで理解が及ぶにはある程度の経験と時間が必要であると感じています。私などは大人になって〇〇総会（自治会総会やPTA総会、教育会総会）に参加して、あの時の児童総会と同じだなと気付きました。ともすると、4月の児童総会は「型」を知る場かもしれません。でも何年か後になって型を学んだことが生きてきます。

委員長たちは、緊張感と闘いながら堂々と活動計画を伝えていました。

そして、それを聞く児童たちも顔を上げて、まっすぐなまなざしを向けていました。

総会の承認を受けて、令和8年度児童会が本格始動します。

運動会実施種目等について

過日の学級懇談会におきまして、運動会についてお問い合わせをいただきました。校内にて検討した内容について、すべての保護者の皆様にもご理解をいただきたく、現時点での考え方をお知らせいたします。

近年は8月から9月にかけての猛暑により十分な練習時間を確保することが難しく、10月開催がほぼ不可能なため、本校を含め多くの学校で5～6月開催へ移行しております。一方、6月開催は新学期直後の大きな行事となるため、特に低学年児童への負担が懸念されます。そのため、本校では児童の実態を踏まえ半日開催とし、種目数を精選して実施しており、「来入児種目」と「代表リレー」は実施しておりません。

来入児種目については、6月時点では入学予定児童が確定していないことや、園への負担が大きいことなどから実施が難しい状況です。

代表リレーについては、魅力ある種目ではありますが、実施する場合は他種目の削減や時間延長、朝練習の実施（安全管理や職員配置を含む）等の課題があるため、令和8年度は見送る判断といたしました。今後の実施については引き続き検討してまいります。

騎馬戦については、これまで5・6年合同で実施してきた経緯がありますが、現在は教科担任制の導入により学年合同での練習時間の確保が難しくなっております。また、安全面や体力面も考慮し、綱引きなど別種目へ変更もしてまいりました。今年度の種目につきましては、該当学年を中心に教育的効果と安全性の両面から慎重に検討してまいります。

「子どもの声でつくる運動会」については、運動会に関わらず、学校としても大切にしたい視点です。行事全体の実施可否や基本方針は教育課程に基づき学校で決定しますが、種目内容や児童会活動などにおいては、発達段階に依りて児童の意見を取り入れながら、主体的に関わる機会を大切にしております。

児童席テントの設置については、必要性を強く認識しております。現在、数は十分ではありませんが、今後の購入や地域からの借用を検討し、設置の実現を目指してまいります。あわせて、実施時期の調整や日よけ対策などを行い、暑さへの配慮と安全確保に努めてまいります。

今後も、児童の実態や時代の変化を踏まえながら、本校にとって最も適切な運動会の在り方を検討してまいります。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。